



## 動画 2 「失敗するパターンと成功するパターン」

こんにちは泉です。私はたくさんの人を教えてきました。やっぱり成功する人と失敗する人には共通のパターンがあります。今日はこの失敗するパターンをどうやったら、改善できるのかを紹介したいと思います。

まず、どんな人が失敗するかというと、

1つ目は情報、材料、ニュースこう言った情報を集める人たち。情報を集めないと株で勝てないんじゃないかと思ってる人たちは基本的に失敗しています。

それはなぜかという、情報をたくさん集めてきても、まずいくらで買っていくらで売るかというのは「**数字が明確になりません。**」その人達の、僕もたくさんの人から相談を受けるのですが、そういう人たちの口癖は「何か上がる銘柄ないですかね」というのが口癖なんです。それが要するに**自分で全く判断をしてない**わけです。**自分で判断するツールを持っていない**んです。人からの情報で全て判断しようとか考えてる。人から聞きたい、よく分かっている人から聞きたい、上がる銘柄知りたい、そう思うんですが、それで儲かるんだったらほとんどの人が儲かります。

基本的に根拠のない。その根拠は何処に探しに行くかという、新聞を読んだりとか、そういったところから情報を得ようとし始めるんですが、**根拠がない**ということは要するに**一か八かでトレードをやってる**んですよね。

ということは要するに**これをギャンブル**というんです。



成功するパターンを持っている人は、なにを見るかというとテクニカルチャートを見て、上昇する瞬間と下降する瞬間を見つけて売買する。これに徹するんです。

2つ目今度は企業名で株を選んで買っていく。要するに企業業績とか、会社の指標だったり、その会社がどれだけ利益を出しているのか、その会社がどれだけ優秀な結果を出しているのか、失敗している人たちは調べているんです。でも実は**会社の企業業績と株価は比例も反比例もしてない**。

どういうことかということ、例えばこの株価が上がっていく時に、ほとんどの人が業績が良いとか、その会社が良い商品を持っているとか上がる要因、材料を探すんですよね。実はこれ株価と比例も反比例もしなくて、なぜ上がるかということ、ここに買いが入るから上がるんです。当然ですよ。買われれば上がるわけですから。ただ企業業績が出て良いと、いろんな人が買いにくると。

例えば1万人の人が1000円ずつ会社の株を買ったとします。それでも1000万円なんです。でも、お金持ちはこの株を1億円で売ればこの株は下がるわけですよ。これは当然ですが。大量の買いが集まれば上がり大量の売りが集まれば下がる。**要するに人数ではなくて資金の量です。この需給バランス需給関係で相場は動いてるわけです。それがチャートに現れます。**チャートというのはいろんな情報を得た投資家が市場、東京証券取引所というような市場に投資家が売買するわけですよ。売買をした結果がチャートに現れます。投資家が動いた結果が、チャートに出てくるわけです。その結果だけ見れば良いということなんです。

この**上昇する瞬間と下降する瞬間をチャートで見破っていきます**。



3つ目に、どんどん値上がりしている銘柄。これを探し出してそれに飛びつく人。これどんどん値上がりしているということは、相当上がっているわけですね。上がっているということは本当に危険な下落をするかもしれない。危険な状態なんです、でもその株を目にしてしまうと乗り遅れると思うんです。自分だけ乗り遅れてるんじゃないかと思うんですね。そして飛びついてしまう。よくいう高値づかみ高いところを掴んでしまうわけです。高い所で買ってしまくと、今度下げはじめたら逃げられません。そうやって損失を膨らませる人がいます。

4つ目、勝手な予想をする人たち。これは株は非常に楽しいんです。銘柄選択どの銘柄を選ぼうかなとか、このまま株は上がっていくんじゃないかなとか、下がるんじゃないかと、期待で買ってしまっている。

5つ目、今度は買った後。この失敗も結構多いですね。買った後に下げていったら、やっぱりロスカットというものをしないといけませんよね。でもロスカットがなかなか出来ない。なぜかという自分が買った銘柄が、その瞬間から下げていく時、何をするかという、その銘柄が上がる材料を探し始めるのです。これ多分、身に覚えがある人もおるかもしれませんが、買ったことは上がると思って買っているわけですね。下がっていくということは、自分の考えと違う方向に動いたと。自分は失敗してるわけですよ。失敗を認めたくないわけですね。認めたくないから上がる材料を探していくんです。いろんな雑誌を見たりとか、いろんなそれについてのレポートがないかなとか、いろいろ上がる材料を探していくこうなるとドつぼにはまってしまう。ロスカットが出来ません。なので、ほとんどの人がこうなると塩漬けになってしまいます。それからそこにこの銘柄は大丈夫という先入観。例えばその買った銘柄が絶対





この株は戻ってくるという先入観で、今度は下がったらさらに下で今度は何品買うんですね。これを積み重ねると本当に大きな損失になります。

なので、成功している人たちは、**チャートでその銘柄が上昇波動なのか下降波動なのかの見極められるようになることが、非常に重要**なんです。

僕は元々証券会社とか、投資系の会社にいたわけではなく、元々はサラリーマンしながら、株式投資を証券会社に、いろいろ相談しながら株式投資をしていました。ただITバブルの崩壊があった時に、それまでかなりの儲けを出していたのですがそれが全部なくなりました。いったんは株をやめたんですが、やっぱりトレード、相場の世界は魅力があって、もう1回戻りたいということで、今度は自分で勉強をし始めました。自分で勉強しはじめて何をやったかという、今度はテクニカルチャート株価の動きをグラフに書いていく。今ではモニターに証券会社なんかで提供されたチャートが見れるようになってますが、それまではそういうものは、あまり復旧してませんでした。

ですので、**自分でグラフに書いて自分で株価の動くメカニズムはどういう風になっているのかを調べ上げました**。その結果ある1つのルール。要するに株価の動くメカニズムを見つけまして、それで株価を稼げるようになりました。そしてその段階で、会社を辞め株で生活していくということを決めて会社を退職しました。

それから一時会社をやめた瞬間というのは、いろんなことがあって挫折もしました。そして、トレーダーとして、ある程度の期間は1人でやっていたんですが、やっぱりトレードをやっていると、孤独



なんですよ。孤独ということは非常に危険な状態でいろんな間がさす間が差す。今まで自分のやってきたルールと違うことをやってしまうわけです。なので、これを今度は人に教えることによって、自分のトレードがきちんと出来る。ルール通りに出来るというメンタルを人に教える。アウトプットするということで、自分のトレードを守るようにしました。

この株価の性質、それから、「空売り」の手法を身につけたことによって、今の私があるといっても過言ではありません。

今回の動画は以上になります。

次回はこの空売りの手法が、いかに有効でどういう風にしたら利益が出せるのかそれを、実際のチャートを使って実証していきたいと思います。次回をお楽しみに。

次回の動画は

**「実際にチャートを使って実証します」**

- ・ 空売りのポイント
- ・ エントリーポイントと利益確定の「具体的な数字」
- ・ ある重要な指標を公開

などなどを公開いたします。